

# 造影検査の説明書・同意書

## 【 造影剤とは 】

造影剤注射後に検査をすると、血管や腫瘍など血流の豊富な組織や尿路が見やすくなり正確な診断につながります。使用する造影剤の量や種類は、体重・検査部位や目的に応じて決められます。

造影剤は、たいていの場合、副作用はありませんが、人によっては下記に示すようなアレルギー等の副作用が出現する可能性があります。

## 【 造影剤の副作用 】

造影剤を注射すると、個人差がありますが体が熱く感じることがあります。

造影剤注射時の副作用の自覚症状には以下のようなものが報告されています。

- ・ 軽微:かゆみ、発疹、吐き気、嘔吐、胃の不快感、息切れ、不整脈など。頻度:約3%
- ・ 重篤:意識消失、血圧低下、呼吸困難など。頻度:0.004～0.04%
- ・ 死亡:他の通常の薬剤と同じように10万人～40万人に1人の割合で死亡の報告があります。
- ・ 腎機能障害:造影剤が原因で腎機能が低下し、腎不全を発症する可能性があります。
- ・ 遅発性副作用:検査終了後1時間から数日後に蕁麻疹、かゆみ、むくみ、吐き気、頭痛などの症状が現れることがありますが、一般に症状が軽く、治療を必要とするものは少ないと言われています。  
頻度:約0.6～8.0%
- ・ 造影剤と糖尿病薬の併用注意について:一部の糖尿病薬を服用している方の場合、頻度としては稀ですが、乳酸アシドーシスという重篤な副作用が起こる事があります。乳酸アシドーシスは、初期症状として食欲不振、吐気、嘔吐、腹痛、下痢などの胃腸症状が急激に出現し、進行すると倦怠感、筋肉痛、痙攣、脱力感、腰痛、過呼吸、脱水、低血糖などを引き起こし、昏睡状態に陥ることもあります。万一の副作用を防止するため、該当する一部の糖尿病薬を服用している方は、造影CT検査前48時間、検査当日、及び検査後48時間は服用なさらないでください。この間これらの糖尿病薬を服用しない事により血糖値が一時的に上昇する可能性があります。糖尿病薬を服用されている方は、該当する糖尿病薬であるのか確認しますのでお知らせください。

## 【 副作用出現時の処置 】

症状が軽微の場合やすぐに消失した場合は経過観察をします。重篤化した場合は、処置や注射、入院治療を要することもあります。

なお検査の際には十分注意し、副作用が出現した場合には迅速かつ最善の処置を行います。

## 【 造影剤の血管外漏出(注射もれ) 】

注射針を注射して血が戻るのを確認してから造影剤を注入していますが、血管外漏出(注射もれ)が起こる事があります。造影CT検査時の血管外漏出の頻度は0.3～0.9%と報告されています。注入時に痛みが強くなってきたら速やかに検査担当者・看護師に伝えてください。

- ・血管外漏出時の症状:血管外漏出が起こって始めの数日は腫脹(腫れ)が大きくなりますが、ほとんどの場合時間と共に改善します。疼痛、腫脹、水疱などのほか非常にまれですが重篤例では潰瘍の形成やコンパートメント症候群(組織、血管、神経の壊死や機能障害)などが報告されています。
- ・血管外漏出時の処置:漏出のみられた四肢を拳上します。疼痛・腫脹の緩和のため冷やしたり消炎鎮痛剤の内服をする事があります。皮膚障害の軽減のためステロイド剤の外用や注射をする事があります。重篤化した場合は、処置や入院治療、皮膚科の受診を要する事もあります。

以上、了解された方は同意書にご署名の上、ご提出ください。

同意を頂けない場合は、造影剤を用いない検査方法を検討いたします。

同意された場合も、いつでも撤回することができます。

令和            年            月            日

依頼施設名 \_\_\_\_\_ 依頼医師 \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_

山鹿市民医療センター 院長 殿

私は、造影検査を受けるにあたり、検査の目的や方法、起こりうる副作用について十分理解した上で、上記、造影検査を受けることに同意しました。

令和            年            月            日

患者署名 \_\_\_\_\_

代理人署名 \_\_\_\_\_

続柄 (            )